

看護学部「お助け隊」

京都橘大学看護学部 2 回生・3 回生

活動場所

醍醐中山団地（京都市伏見区醍醐中山町）

活動目的・背景

本学では、2015年4月に地域連携センター分室を醍醐中山団地内に設置して以来、団地住民の協力を得て、さまざまな地域連携活動を実施している。「お助け隊」は、看護学部の正課授業「看護プライマリ実習」の一環として、住民とのコミュニケーションを通じて高齢者の生活実態を知り、看護職として対象者が求めるサポートを学ぶことを目的としている。



取組概要

本学の看護学部の学生が醍醐中山団地の高齢者宅を訪問し、普段なかなかできない高所や風呂などの掃除、網戸の張り替え、家具の移動、大型ごみなどの搬出など、あらかじめ各戸から聞き取った生活の困りごとを支援し、一緒に解決する。毎年前期と後期の2回実施している。



成果・今後の課題

参加した学生は、現在看護の基礎を学んでおり、実際に地域で生活する高齢者世帯の生活環境の実態や不自由さを目の当たりにして、そこにある問題点について深く考え、高齢者がどのようなことに不安を持っているのかについて理解することができた。



本取組に関する
お問合せ先

京都橘大学学術振興課(地域連携センター)

TEL : 075-574-4342

E-Mail: occ@tachibana-u.ac.jp

関連 Web サイト

<https://www.facebook.com/京都橘大学-地域連携推進機構地域連携センター-1551267731820499/>